

上尾市水道事業では、事故や大規模地震、風水害などへの備えとして、その対応に特化した「実動班」を令和2年3月に編成いたしました。

「実動班」では、大規模災害を想定した各種の講習会や訓練を重ねることで、迅速な対応ができる職員を育成しています。

今回は、10月、11月に行った訓練内容について報告いたします。

## 管洗浄（実技）の実施

令和7年10月9日（木）、11月13日（木）に新任実動班員を対象とした**管洗浄（実技）**訓練を実施しました。市内某所で断水のための仕切弁操作および、開放時の水道管洗浄のための仕切弁操作について訓練しました。

### 【仕切弁操作状況】

経験者である実動班員を指揮者、新任実動班員を仕切弁操作者として2班編成し、午前と午後に分けて訓練を行いました。新任実動班員は、仕切弁操作の方法や注意点を聞いた後、仕切弁操作を行いました。



## 交通誘導講習（実技）の実施

令和7年10月20日（月）、10月27日（月）に新任実動班員を対象とした**交通誘導講習（実技）**を実施しました。実際に仕切弁を操作したり、漏水を修繕する場所は、ほとんどが道路上です。正しい交通誘導を行わなければ、交通事故等の二次被害につながるため、講習を行い交通誘導の技能の習得を目指し訓練しました。

令和7年10月23日（木）に実動班員（指揮能力養成課程）を対象とした**漏水修繕（サドル付分水栓）**を実施いたしました。

市内で漏水事故が発生したという想定の下、漏水している水道管のモデルから実際に水を噴き出させ、サドル付分水栓を用いて漏水修繕するための手順、注意点について教わりながら、実動班員（指揮能力養成課程）一人ずつ訓練しました。

これまでは、木栓による漏水修繕を主に訓練してきました。異なる漏水修繕方法を学ぶことで、漏水修繕への理解をさらに深めています。

### 【サドル付分水栓とは？】

分水栓とは、配水管から給水管を取り出すための給水用具です。中でもサドル付分水栓は、配水管に取り付けるサドル(鞍)機構と止水機構を一体化したものです。本管を断水せずに分岐工事が行えるため、給水分岐システムとして広く使用されています。

※出典：画像および文は給水システム協会のホームページ



### 【漏水修繕（サドル付分水栓）状況】

水が噴き出している箇所にサドル付分水栓を送り止水します。

高い水圧がかかっている箇所の修繕を行うためには、手順を頭に入れ、手際よく作業しなければ、けがにつながります。

“理屈”をきちんと理解して作業することで、素早く安全に修繕できます。



令和7年10月30日（木）に、総合指揮監督を目標とする実動班員を対象とした**管洗浄（座学）**を実施いたしました。

昨年度より実施されているこの講習は、災害時に総合指揮監督がとれる人材の育成を目的としており、これまでの管洗浄（座学）と比べ、より高度な内容となっています。

### 【検討状況】

漏水事故などの危機が発生時した際に指揮を執る状況を想定し、各実動班員がそれぞれ対応方法を考え、発表しました。問題の想定がこれまでより現実になくなっており、指揮を執るに当たって考えなければならないことが増え、より多くのことを、より素早く考える訓練となりました。



### 管洗浄（実技）の実施

令和7年11月20日（木）に、新任実動班員と実動班員を対象とした**管洗浄（実技）**訓練を実施いたしました。作業人員を減らし、地形的（道路勾配が大きい、交通量が多い、見通しが悪い等）な難易度も変更してさらなる技術力アップを目指し訓練しました。

